



得意のフットワークで要求実現

No.102

# まつお 正秀のかから版

自宅 能登町 12 - 58 - 108 能登レックスマンション Tel・Fax73 - 0775

携帯 090 - 6960 - 4570 議員団控え室 Tel35 - 3368 Fax22 - 7815

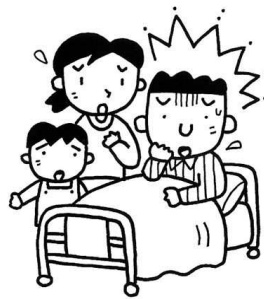
西宮議員団ホームページ (まつおの活動紹介あり) <http://nishinomiya.jcp-giin.net/>

ブログは「まつお正秀の雑記帳」検索で

## 国・県の社会保障改悪許さない運動を

### 国では国保の広域化や負担増、県では切り捨てが

民主党権時代の一昨年、自民党や公明党も一緒になって消費税の増税を決めると同時に、社会保障改革国民会議が設置され、様々な社会保障改悪のシナリオが現在進められています。介護保険では要支援1と2は国の制度の対象外とし、支援をするかしないかは自治体の裁量任せに(財源も含め)。医療の分野では、来年度予算で70歳から74歳までの医療費窓口負担を一部から二割へ引き上げ、うがい薬の処方を保険からはずすなども盛り込まれています。重大なのは国民健康保険を基本的に自治体単位から都道府県単位に変えようとしていることです。これが実施されると全国の自治体で国民健康保険料が跳ね上がることとなります。



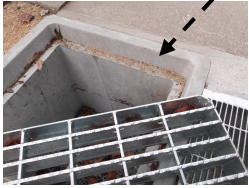
西宮では2007年に県内で最も高い保険料となりましたが、市民の方たちと運動を重ね、翌年には保険料軽減に一般会計から2億5000万円繰り入れさせて保険料引き下げが実現。今では10億円繰り入れても保険料が上がることにはなりません。

兵庫県も「第3次行革」と称して、老人医療費助成やひとり親家庭医療費助成の削減、老人クラブ強化費の削減、私立高校の授業料軽減額の削減などを打ちだしています。国や県の改悪の撤回や今後の改悪を許さない運動を広げ、実施されれば市が肩代わりするなど、自治体の役割がますます重要になっており、党議員団はその為に頑張ります。

# 一ヶ谷東公園の排水口工事が終了



昨年の大雨であふれた排水口。落ち葉が詰まってました



大きく深くなった集水枳



幅が広がった排水口

昨年11月号のかわら版で紹介した一ヶ谷東公園西端にある排水口。落ち葉などがつまり流れにくくなっていました。そのため、市の下水道課と公園課に改善の要請をしていましたが、このたび排水口の幅を広げるとともに、集水枳もこれまでよりも広く深く改善する工事が行われました。

## 健康あれこれ 26回 花粉症

日本人の四人に一人が花粉症と言われます。花粉を異物として攻撃する体内のヒスタミンが異常に増えた人にこのような症状が現れるとか。毎年、抗ヒスタミン薬を早めに使用することで発症を遅らせアレルギー反応も抑制できますが、脳に作用して眠気をもよおす難点がありました。最近では脳には作用しない市販薬もあるそうです。ヒスタミンは花粉症の人にとって悪者のようですが、全身ではガンや動脈硬化、骨粗しょう症になりにくい働きをするなどの効能がたくさんあります。花粉症と悲観せず、つきあい方を身につけることが大切みたいですネ。

## 食べ物豆知識 90回 レンコン

最近注目野菜のレンコン。山芋のように糸を引く成分のムチンやポリフェノールもたくさん含みます。ビタミンもレモン並みに含有し、脂肪肝の改善にもいいとか。最近ではアレルギー効果が特に注目されており、オペラ歌手の中島啓江（けいこと読むそうです）さんが6歳の時に発症したぜんそくの症状をレンコンで直したとか。花粉症にも効果があるらしく、レンコンパウダーが最近売られているようで、花粉症に悩む私も現在愛用しています。効果はいかに？

## まつお正秀の「コラム」

まもなく新年度の予算案を審議する三月議会。毎年党議員団は、次年度の予算編成に対する要望を市長に提出しており、その中には道州制や都構想への反対も求めています。すでに平成の大合併で自治体数は約半分に減。国の支出減が主目的で、合併特例の借金を認めるなどのアメとムチで行われた政策ですが、自民党や財界が今後進めようとする道州制案では、30万人以下の自治体は合併でなくそうです。橋下市長は当初からこの考えに賛同し、その発想から大阪都構想を打ち出し、選挙では「府と市の二重行政の無駄をなくす」と訴え有権者の一定の支持を得てきました。今度その行方が不透明になり出直し市長選に。都構想だけが争点の選挙は、小泉郵政選挙とよく似ています。大阪市で補助金削減や民営化などで浮いたお金は道路のイルミネーションやカジノなどに使うのでは市民の暮らしはよくなりません。この選挙費用6億円。議会の構図は変わらず、何のための選挙なのか問われます。